

実は、ユーカリやミントに似た清涼感のある香りが強くある。

漢方の生薬である蔓荊子（まんけいし）として、強壮・清涼剤としても使われている。

ハマゴウ（シソ科）

北海道をのぞく日本全国の海岸砂地に自生する常緑の低木。開花時期は7-9月。実のなる時期は、9-10月。



HAMAGOU

浜香

はまごう



昔は、葉を線香の原料にしていたんだよ。



ドコで見られる?!

上蒲刈島の初神（蒲刈トンネルの南側）にある海岸。砂浜にはたくさんのハマゴウが生えている。



はまごうの実

実を乾燥させて、枕の中へ!!!
そばの殻やビーズと一緒に入ると
リラックasできるよ。




はまごうの花



育て方のコツ

一般的には挿し木で増やしますが、実から育てることができます。コツは、紙やすりなどで“実の表面を削る”こと。そうすると、傷から水が中へ染み込み、発芽をしやすくなります。

自然界では、ハマゴウの実が海の岩や砂などで、皮に傷がついて砂浜に流れ着いたり、野鳥に食べられて胃の中で皮が消化し、皮のない実が糞として砂浜に排出されます。その代りを紙やすりで行います。育てて実を収穫してみるのも面白いですよ！




くれえぱんмам
公式サイト

